

むつのはな

教育目標
自立 共生 協働

令和6年度
深川第二中学校学校だより
令和6年4月12日 #01



春風や闘志いだきて丘に立つ
高浜虚子

4月8日の始業式の講話の中でこんな話しをしました。「三月中は、別れを惜しんだり、寂しさが心を支配したりしてグズグズしても、4月を迎えた瞬間、何かを切り替え、「よし。」と次のことに向かつて、まっすぐ前を向かせましょう。」という話です。春は何かを決め、今までの自分のある部分と訣別します。そうやって、次のことへと意志を向けます。このことを「決意」というのではないのでしょうか。季節は穏やかな風の吹く春、虚子が何かを決意し、丘の上、遠くを見据え拳を握りしめる様子が目に浮かびました。

新たな132人との出会い ～入学式に思う～

今月9日(火)に、本校入学式がありました。あいにくこの日だけが、花散らしの風雨、とも強く、生憎の天気になってしまいましたが、新入生のある保護者の方が、「絶対に忘れない入学式になったわ…」とお話しされているのを小耳に挟み、なるほどモノは考え様だな、と感心しました。この雨も命や芽吹きを育む慈雨だと思えば、こども達の成長に繋がっていくものだと考えることもできます。

ところで入学式の式辞の中で、こんなことを新入生に伝えました。

「春は出会いの季節です。新1年生の仲間の中にも、今日初めて出会った人がいると思います。1年生だけでなく、明日出会うこととなる2,3年生の仲間とともに手を取り合い、これからの三年間、この深川第二中学校で、お互い高め合っていきましょう。先生方や職員の方々、この二中を支えてくれる地域の方々とも出会うことになります。縁あって、人は出会います。この二中での出会いを大切にしてください。」

この「縁」という見えないつながりの中、人は生かされていきます。出会いを良くするも、悪くするも、その人の心がけ次第です。茶の湯の言葉に「一期一会」という言葉があります。これは、茶道のごく大切な概念で、茶会で人に対する時は一生一度の出会いと考え、心を込めて相對しましょうという心構えを表す言葉です。これは日常の生活に繋がる考えです。良き出会いをしている人は、人との出会いをとてども丁寧に考えている人なのではないでしょうか。そのはじめの窓口が「あいさつ」だと考えます。深川二中では、このあいさつを生き方としてとても大切に考え、教育の根幹にすえています。

『相手を思いやり、心を込めて、自ら進んでする あいさつ』

師弟同行、大人も子供も目指して欲しいと考えています。

春は出会いと別れの季節

今年度転出入された教職員の紹介 4 / 1 現在

転出・退職された教職員

泉 昌史 副校長 ご勇退
岡地 小百合 主任教諭(国語) 葛飾区立四つ木中学校へ
田口 尚克 教 諭 (国語) 品川区立東海中学校へ
松縄 裕太 主任教諭 (数学) 大田区立蓮沼中学校へ
池田 優子 主任教諭 (英語) 江東区立辰巳中学校へ
渡部 隆 教 諭 (数学) ご勇退
福島県郡山市立郡山第四中学校へ
坂本 有理沙 主 事 (共同事務)
都立大江戸高等学校経営企画室へ
加倉井 隆 特支専門員 ご勇退
小野 希代子 スクールカウンセラー 他地区へ

着任された教職員

河村 英明 副校長 江東区立亀戸中学校より
小山 健司 主幹教諭 (保体)
江東区立第二亀戸中学校より
大石 悠太 主任教諭 (数学)
小平市立小平第一中学校より
小野寺拓海 教諭 (国語) 荒川区立諏訪台中学校より
小平 悠海 教諭 (社会) 文京区立文林中学校より
大川 双葉 教諭 (数学) 江戸川区立春江中学校より
清久 実咲 教諭 (国語) 新規採用
阿部 旭来 教諭 (社会) 新規採用
塚原 麻結 主事 (共同事務) 新規採用
佐々木真寿美 特支専門員 新規採用
勝間田 恵子 S C 新規採用